

令和3年3月（第1回）岩倉市議会定例会 代表質問

関戸 郁文 議員

- 1 選挙期間中、市民の皆様からはどのような「ご期待」が寄せられたか。
- 2 新型コロナウイルスワクチン接種の実務を行う「推進チーム」の概要は。
- 3 「ワクチン接種」以外の新型コロナウイルス感染症対策の検討状況はどうか。
- 4 「子育て世代包括支援センターの機能を強化」していく際の課題は。
- 5 「生涯学習の充実」として、リモート講座(オンライン講座)など、オンライン環境のさらなる充実も必要ではないか。
- 6 「持続性の高い魅力ある地域活動の環境づくり」の際に、地域活動に参加される皆様の高齢化をどう考えるか。
- 7 駅周辺のにぎわいと活力の創出についてですが、桜通線の整備およびにぎわい広場の整備といったハードの整備に加え、そこで何を行いにぎわいを創出するのかを明確にしないで実現しないを考える。どのような事を行う想定をしているのか。
- 8 「スマートインターチェンジ」実現に向けて、改めて市長の「決意」、「抱負」をお伺いしたい。
- 9 朝の（通勤・通学時の）道路の「渋滞緩和」についてどのように考えるか。
- 10 一宮春日井線の東への延伸は、1期目の公約でもあった。未だに進まないが、現在の状況はどうなっているのか。
- 11 「国や県、民間企業との連携」を今後さらに進めていくための方策は。
- 12 「マルチパートナーシップによるまちづくり」に向けて、市長の「熱い」思いをお伺いしたい。
- 13 「A I等やICTを活用したデジタル改革」を進める際の、現時点での課題は。

14「新規事業や政策的な事業の一部については、令和3年6月議会以降に関係予算案を提出」とのことだが、現時点で想定されている補正予算の規模等などお示しいただきたい。

15 市税の減収を地方交付税や臨時財政対策債で補う形での予算編成となっているが、将来的な財政の見通しがわかればお伺いしたい。

16「ふるさとといわくら応援寄附金」をさらに充実していくための方策は。

17 令和2年度、3年度末の「市債」の残高総額及び残高に関しての見解は。

18 50周年記念事業として「30を超える事業を行う」とのことだが、現時点での進捗状況はどうか。

19 令和5年度からの第3期地域福祉計画の策定に向けて、現状認識と課題を問う。

20 後期高齢者を対象とした健康診査については、「事前申込制に変更する」とのことだが、オンラインや電話等のみで事前申込の手続きが完結することも可能か。

21 新型コロナウイルス感染症対策についての具体的施策についてお尋ねします。特にコロナワクチン接種時期、方法などできるだけ現時点でお話できる範囲でお答えしていただきたい。（イスラエルの事例を参考に）

22 新型コロナウイルスワクチン接種について、スムーズな運営のため集団接種のシュミレーションを行い事前に問題点を洗い出す必要があると考えるがその予定はあるか。

23 新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種について、集団接種と個別接種の併用で行う場合の課題の抽出等はどのようなになっているか。

24「新たに地球温暖化対策実行計画・区域施策編と生物多様性戦略を加えた計画」とのことだが、「地球温暖化対策実行計画・区域施策編」及び「生物多様性戦略」について、各ポイント(要点)をお伺いしたい。

25「商工会、金融機関等と連携し、地域産業の活性化と発展に繋がる施策を包括的に実施」する際にも、「マルチパートナーシップ」の視点がますます重要になってくると思われるが、どのように具体化していくか。

26 五条川の桜並木については、今後も桜の植え替えを進めていくべきと考えるが、中長期的な見通しはどうか。

27「川井野寄地区での企業誘致関連については、令和2年度中に愛知県企業庁により誘致企業が選定される予定」とのこと、いよいよ大詰めだと思うが、企業選定に向けての現状はどうか。

28 桜通線の整備促進のための「用地取得、物件移転補償、物件調査業務」について、今後の課題は。

29「トワイライト学習」について、新たに開催することとなった経緯と具体的な開催方法はどうか。今後、「トワイライト学習」を拡充していく予定はあるか。

30 岩倉北小学校については、「岩倉東小学校と同様に水泳授業は民間の温水プールを利用していく」とのことだが、児童・保護者の方々の「受けとめ」はどうか。将来的な課題として、小中学校の水泳授業などで民間の温水プールをより積極的に活用していく考えはあるか。

31 下田南遺跡の発掘にあたりなにか記念に残すようなことを考えたいがお考えをお伺いいたします。

32「本市のおいしい水「(仮称) いわくらしや水」を製造」するとのことだが、本市のおいしい水を利用した、ペットボトルのお茶や炭酸水、炭酸ジュースなども製造・販売したらどうか。

33「令和3年度からの3年間で市内全域の配水管等について漏水調査を行う」とのことだが、特に早急に漏水調査を行う必要性が高い箇所(地域)から優先的に調査を進めていくべきと考えるが、見解を問う。

34「笑顔あふれる岩倉市」の実現に向けて、今一度、市民の皆様への熱い「メッセージ」を最後に一言いただきたい。